

## 会議の要旨（議事録）

会議の名称	第3回鳥栖市高齢者福祉計画策定委員会		
開催日時	平成30年2月27日 午前10時から	開催場所	鳥栖市役所2階第2会議室
出席者数	策定委員 8人 事務局 5人	傍聴人数	0人
議題	①前回からの変更点について ②鳥栖市高齢者福祉計画パブリック・コメントの実施結果について		
配布資料	○第3回第8期鳥栖市高齢者福祉計画策定員会レジュメ ○資料1 第2回策定委員会でのご意見・ご質問 ○資料2 第8期鳥栖市高齢者福祉計画（素案）に対するパブリック・コメントにおける意見・質問及び回答（案） ○資料3 パブリック・コメント手続きにおいて出された意見・質問に対する回答に基づく鳥栖市高齢者福祉計画（素案）の修正（案） ○資料4 第8期鳥栖市高齢者福祉計画最終案		
所管課	（課名）社会福祉課		（電話番号）85-3554

## 第3回鳥栖市高齢者福祉計画策定委員会 会議録

- 1 開会あいさつ
- 2 議題
  - ①前回からの変更点について
  - ②鳥栖市高齢者福祉計画パブリック・コメントの実施結果について
- 3 その他

○会長

- ・議題について説明依頼

○事務局

- ・議題について資料に添って説明

### 議題①前回からの変更点について

●会長

移動販売の件については、近くのセブンイレブンさんに来ていただいて、利用者さんの買物をということでやらせていただきました。やはり、お年寄り、施設を出られない方は喜ばれます。顔が和やかな感じになってきて、「あれも、これも」、「次はこれを持ってきて」というような要望も出るくらいですから、通いの場等、家から出ていただくような仕掛けをどう考えるかというのが、自分たちも試してみても非常に効果的だなと感じました。

●委員

移動販売というのは、困っている人がどれくらいいるのでしょうか。いつも机の上で協議して、どれくらい困っている人がいるのかの追跡はできているのですか。

○事務局

市内でも地区によって需要が違ってきます。

●委員

訪問販売に来てもらっていますので、地元の人もいいのではないですかと言っているのですが、区長さんに声をかけても需要がありません。だから、どこまで必要なかが掴めていません。こちらは困っている人が多いだろうとの認識で進めていますが、実際やってみたら全然需要がないという具合です。こういった点をもう少し色々な所と共有してやられればと思います。例えば、近所の方が歩いて出てこられるとか、そういう、ちょっとしたことができれば、1人でも2人でも困っている方を支援できるのかと思います。

### 議題②鳥栖市高齢者福祉計画パブリック・コメントの実施結果について

●委員

高齢者の方は、この事業に沿って外に出てきて通いの場であったり、支援ひろばであったり、ふまねっとであったり、あまり重たい動きじゃなく、緩やかな、外に出てきてちょっとみんなと触合うという程度ですね。そういうことに出てきてもらえれば、来た方は楽しく過ごして、「楽しかったね、また来るね」と言って帰られるのですが、そこに来られない方が、パブコメのご意見にもあったように一番の課題なのかなと思います。引きこもって出てこようしない方をどうやってイベントに参加してもらおうのかが一番大事というご意見でその通りだと思っています。行政のやっている事業についてこられる方は、まだまだ安心な域にいらっしゃるのだろうなと思います。交通手段の確保にはいたっていませんが、本当に至れり尽くせりだと思っています。

ふまねっと等の色々な教室に男性が少ないです。少数の通っている方は女性に囲まれていても、和やかに楽しく過ごして一緒に笑っています。ただ、笑うということで、自分が失敗したときに「違っていたね」と笑う方もいらっしゃいますし、笑われたからということで、1、2回通ってこなくなる方がいらっしゃるの、その辺りが一番の課題ではないかと思っています。どうやって来ていただくのかは、やはり、地域の皆で声かけして実施できるようにですね。

●委員

参加する方は皆同じです。女性の中に入っていけるような人は考え方が若い。いくら言っても、嫌と言う人が結構いらっしやる。結局来る人は、他の行事にもいらっしやって、同じ人ばかりです。

●委員

独居のお年寄りをどういった形でそういう場に来てもらうのかは、最大の課題です。こちらから訪ねて行っても、ドアを開けてもらえない、関係ないという方が増えてきています。

●委員

この計画はデータ化してホームページに載せるのですか。

○事務局

はい。

●委員

今まで気にしていなかったが、最後の用語解説は必要なのですか。本来は、知っている人も知らない人も見て分かるようにしないといけないので、中に書いていないといけないのではないかと思います。あまりにも専門的すぎて、最初の方を見て挫折してしまいそうな気がします。

●委員

やるが増えて民生委員は大変ではないですか。

●委員

民生委員の方々の声を聞くと、研修とか色々なものに駆り出されて大変なところですよ。民生委員の業務が多くなっているような気がします。世帯が多いところは本当に大変だと思います。見守り活動をされている民生委員さんは特にですね。ベルを鳴らしても出てこない、そういった方々が、ふまねっと等にも出てこられない方々ですけど、そこを開けていただくところから民生委員は苦労しています。

●委員

何と言っても出事が多すぎると思う。多くの出事があって、それに付随するものに出ないといけないので、家にいる時間がない。

そして区長より民生委員さんの方がさらに大変みたいだ。ある程度のところにしてもらわないとなり手がいない。

●委員

一年間、民生委員の欠員が出ていて、区長も大変な思いをして、このごろやっと見つかりました。決まった方も高齢な方でございまして、最近では60代前半の方は仕事をしていて、仕事を持っていると民生委員も大変です。だから、民生委員も高齢化の波に押されています。やはり、動けるのは60代です。70歳を超えるとなかなか動けないもので、民生委員をやっていたら60代前半からやっていたら動かしやすくなると思います。

●会長

年金の支給年齢も段々と引き上げられてきて、そうすると60歳で定年退職をしても働いた方がよい。国もそれを奨励していて、旧来からある制度との整合性をどう保っていくのかを考えることが必要な時期に来ているのではないですか。問題の解決には色々大変なものがあると感じますが、それでは他に何かありますか。

●委員

人口の将来推計についてはどこまで出ているのですか。団塊の世代が75歳になる時期が課題としてありますが、その方々を見るときは、団塊ジュニアの世代が多いので、まだ賄えるという雰囲気です。しかし、団塊ジュニアの世代が75歳になったときは、崩壊しているのではないかと。だから、そうなる前に何とかしないと、自治体自体が危くなるのではないかと。先を見たら暗くなるでしょうが、鳥栖市にそうなるのはほしくないと思います。そういったことが何十年後に話し合われることになるだろうし、今から考えておいた方がよいと思います。

●会長

頭で考えると非常に良くできた案ですが、ようは地域の絆をどう共生社会に持っていくのか、先ほどの話と同じで、壊れた地域の絆をどうやって再生していくのかというのは大きな課題だと思います。

●委員

今、ターミナルケアが言われており、お亡くなりになるにあたって病床がたりないということで。今回の制度改正では、在宅でのターミナルケアを推奨されているようにも読めますし、ますます孤立化のリスクは高まってきており、身寄りのない方の終活的なサポートというのも考えております。意図せず状態変化が発生したときに、救急処置を行うのかどうか、本人の望まない蘇生をしてしまうと、不幸なことでもありますし、お亡くなりになったとき葬儀をするのか、お金がない場合、献体という方法もございます。こういった方で、介護保険施設等を利用している方でしたら、関わっていけると思うのですが、そうではない孤立した方は、今後、問題として出てくると思います。民生委員もなり手がなく、いっそう、行政にどうしましょうか、という話があるのではないかと思います。権利擁護の話もありますので、早い段階で意向を伺うようなこともやっていかないといけないと思っています。その役割がすべて包括支援センターになったとしても、包括支援センターは最終的には市に相談する形になるので、今ではないかもしれませんが、今後の見立てというか、次の計画で出されるのか。個人的な懸念ではありますが、結婚しない方、子供を産まない方も増えており、2～3割の方が結婚しないとの統計も出ていますし、そういった方々が増えてきて、お金がある方は助けられても、そうでない中間層の方が気になります。今後、終活の支援が必要になってくるのではとの思いです。

○事務局

実際、人口、世帯構成を見ていると一人世帯が増えております。若い世代はそう問題はないかと思いますが。高齢者の方で核家族化がどんどん進んでいて、子供が出て行って高齢者だけになっています。そして、御主人や奥さんのどちらかが亡くなって一人世帯になってしまう。そういった状況と、結婚しないそもそもの一人世帯も増えてくると、私たちの方もこの問題については何らかの対策が必要かと思っております。今でも、身寄りがないとかの問題は出てきております。

今回の計画の中には具体的な施策として盛り込んでいませんが、生涯学習課では終活のセミナー等を行っております。自分で何とかしていくというのが一番のところで、私たちとしても、言葉は悪いですが、自分の死に方をどう考えるかの啓発をしていかないといけないと考えております。それをサポートする権利擁護の体制も今後出てくると思います。

例えば、成年後見等、様々なところに波及してくると思います。そういったところに上手く対応できるための施策を十分にしながら、新しい課題に向けて今からでも取り組めることは、計画に載っていないことでも取り組んでいくような姿勢で取り組んでいきたいと考えています。

●会長

他にご意見・ご質問はありますか。ないようであれば、その他でございますが、事務局から何かあればお願いします。

○事務局

それでは、今後のスケジュールについてですが、内部の決裁後に印刷発注を行い、来月には、計画書の納品を予定しております。

●会長

以上をもちましてすべて終了いたしました。計画策定のための審議が3回と限られた回数ではありましたが、各委員のご協力によりまして、無事に終了できました。ありがとうございました。

○事務局

高齢者福祉計画策定委員会につきましては、今回で終了となります。先程会長よりお話がありました通り、委員会の審議が3回と極めて限られた時間のなかで、慎重にご審議をいただき、ありがとうございました。

——事務局挨拶——

○事務局

それでは、これを持ちまして鳥栖市高齢者福祉計画策定委員会を終わらせていただきます。

大変にありがとうございました。  
－閉会－